

大崎市で体験できる「グリーン・ツーリズム」の一例

ずんだもち手作り体験

大崎市の伝統食“ずんだ”を、サヤから豆をつひとつ取り出すところから体験。世界農業遺産にも認定された“もち文化”を体験してみよう。

- 料金(一人当たり)／1,500円
- 受け入れ可能人数／40名～
- 期間／通年
- 体験時間／2時間



民泊・農泊体験

家族の一員として温かく迎え入れてくれる大崎市のお父さん・お母さん。文化・地元料理・方言に触れることで、子供たちの“心の成長”に繋げる。

- 料金(一人当たり)／8,200円
- 受け入れ可能人数／120名
- 期間／通年



わら細工体験

手塩にかけて育てた古代米の稲わらでクラフト体験。地元のお母さんに教わりながら農家の手仕事を体験し、古代のロマンを感じてみよう。

- 料金(一人当たり)／2,500円
- 受け入れ可能人数／10名～
- 期間／通年
- 体験時間／1時間30分



「個人ではなかなか行けないところを、ガイドさんが丁寧に説明しながら案内下さり、とても勉強になりました。このような体験事業を季節ごとに設けてください。ぜひ参加したいと思います!」(仙台市から参加 40代)



「地元に住んでいます。初めて見聞することが多くとても良い体験ができました。」(大崎市から参加 50代)

グリーン・ツーリズムとは?

グリーン・ツーリズムとは、自然豊かな農山漁村地域で、自然・文化・人々との交流を楽しむ滞在型余暇活動のこと。その土地ならではの食事や伝統文化体験、地域の人々とのふれあいなど、普段の生活とは一味違う体験などを楽しめる。



Message from Osaki City

世界農業遺産
「大崎耕土」の
宝を未来へ!

大崎地域1市4町(大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町)では、「大崎耕土」で途絶えることなく続けられてきた水田農業の知恵と、農業が育む多様な伝統文化や豊かな生物多様性を守り、未来に引き継ぐことが大切です。これら先人から引き継いだ地域資源の宝を再認識し、農産物のブランド化や6次産業化、都市農村交流、農村景観と農文化の保全、そして担い手となる次世代の育成を進めていきます。

今注目を集めている「グリーン・ツーリズム」。大崎でも楽しめるプランがいっぱい!

グリーン・ツーリズムで大崎満喫!